

原子力災害による風評被害を含む影響への対策パッケージの概要

平成25年4月 復興庁

- 復興庁において、平成25年度当初予算案を中心に各省庁における取組(予算以外の取組を含む)を取りまとめ。
- 被災地域産の食品・農林水産物等の安全と消費者の信頼を確保するとともに、風評被害等の影響を受けている地域産業における新たな需要創出に向けた支援等を行う。

1. 放射性物質の確実な把握と コミュニケーションの強化

(1) 被災地産品の放射性物質検査の実施

- ・食品中の放射性物質の基準値の設定
- ・被災地産品の放射性物質検査体制整備と検査実施 等

(2) 空間線量等の環境放射線量の把握と公表

- ・福島県内を中心とした放射線モニタリング体制整備 等

(3) 正確で分かりやすい情報提供等コミュニケーションの強化

- ・食品中の放射性物質基準値、放射性物質による健康影響等に関する情報提供
(シンポジウム、ミニ集会の開催、ポスター等の配布) 等

2. 風評被害を受けた産業への支援

(1) 被災地産品の販路拡大、新商品開発等

- ・福島産農産物等のブランド力回復のためのPR事業
(メディアを活用した広報、全国キャラバン等)
- ・全国的な被災地産品消費拡大に向けた「食べて応援しよう！」キャンペーンの推進
(一環として全府省庁の食堂、自衛隊用糧食等における被災地産食材積極利用等)
- ・被災地産業(農業、商工業等)による新製品開発等支援
- ・被災地産品等に対する諸外国の輸入規制緩和に向けた働きかけ 等

(2) 国内外から被災地への誘客促進等

- ・福島県をはじめとする東北地方等への旅行需要喚起のためのPR事業
(メディアとタイアップした広報、震災語り部・ガイドの育成、復興イベント開催等) 等

国民の健康
リスク回避

食品等の安全・消費者の信頼の確保

被災地の産業への直接的・間接的(風評)影響の克服

被災地の産業における新たな需要創出

原子力災害による風評被害を含む影響への対策パッケージ 主な取組の例

1 放射性物質の確実な把握とコミュニケーションの強化

食品等の放射性物質検査

- 被災地等で生産・加工された食品等に含まれる放射性物質を生産・出荷・流通等の各段階で検査するとともに、空間線量等の測定を確実に実施します。



放射線検査装置

正確で分かりやすい情報提供

- 食品等の放射性物質検査や、空間線量の測定結果をホームページで迅速に公表します。
- さらに、放射性物質の健康への影響等を子育て世代や学校関係者等に分かりやすく情報提供します。



2 風評被害を受けた産業への支援

被災地産品の販路拡大・新商品開発

- 被災地産の農林水産物等の消費拡大のため、官民連携によるキャンペーン（「食べて応援しよう！」）に取り組みます。
- さらに、福島県の産地と連携した農産物等の戦略的PR（マスメディアを活用した広報、全国キャラバン等）をはじめ、地域木材や伝統的工芸品、工業製品等の販路拡大・新製品開発を支援します。



安倍総理の福島訪問(3月24日)

被災地への観光客誘致

- 福島県を中心とした被災地域への観光需要を増加させるため、マスメディアとタイアップした広報や、復興イベントの開催等を行います。
- さらに、海外の旅行会社や在外公館と連携した観光誘致PR等により、広く国内外からの観光客を誘致します。



鶴ヶ城
(福島県会津若松市)



滝桜
(福島県田村郡三春町)